

2024.09.06 第8回山陰両県コンクリート診断士会 合同研修会を開催しました

山陰両県のコンクリート診断士会は、平成27年の設立10周年記念大会を契機として両県交流会を年1回程度開催することとし、これまでに両県持ち回りで計7回の交流会を開催してきたところです。今年は松江市において、下記のとおり開催されました。

第8回 山陰両県コンクリート診断士会合同研修会プログラム

1. 名称: 第8回 山陰両県コンクリート診断士会合同研修会
2. 日時: 令和6年9月6日(金) 13:30~17:10(受付 13:00~13:25)
3. 場所: 松江テルサ大会議室
島根県松江市朝日町 478-18
TEL 0852-31-5550
4. 主催: 島根県コンクリート診断士会
共催: 鳥取県コンクリート診断士会
5. 開会挨拶: 13:30~13:40(10分)
島根県コンクリート診断士会会長 松浦 寛司
6. 基調講演: 13:40~15:10(90分)
演題「(仮)コンクリート診断技術の現状と課題」
高知県コンクリート診断士会 原田 隆敏 会長

休憩・15:10~15:20(10分)
7. 会員による業務体験発表
(1) 15:20~16:20(60分)
演題「失敗事例について」
島根県コンクリート診断士会 金村 誠

休憩・16:20~16:30(10分)

(2) 16:30~17:00(30分)
演題「現場見学会報告」
島根県コンクリート診断士会 辰巳 裕幸
8. 閉会挨拶: 17:00~17:10(10分)
鳥取県コンクリート診断士会会長 鶴石 建治

研修会の開催状況

◆出席者数

- ・鳥取県コンクリート診断士会 11名
- ・島根県コンクリート診断士会 38名(講師 3名を含む)
- ・合計 49名

◆開催状況



島根県 松浦会長 開会あいさつ



江本講師



研修風景



島根県 金村講師



島根県 辰巳講師



鳥取県 鶴石会長 閉会あいさつ

コンクリ診断士会

山陰両県合同研修開く

会員50人参加し交流会

鳥取と島根両県のコンクリート診断士会による合同研修会がこのほど松江市内であり、コンサルタントや建設会社などに所属する会員50人が基調講演や意見発表に耳を傾けた。(写真)

合同研修は今年で第8回目。基調講演では、講



師を迎えた高知県コンクリート診断士会会長を務める原田隆敏氏が登壇。原田氏は、日本初のコンクリート製の防波堤で1908年完成の小樽北防波堤を取り上げ、自身で当時のコンクリート配合設計を入手し、再現した体験を語り、出席者は興味深そうに聞き入っていた。

このほか原田氏は、生産性向上や働き方改革を交えて診断技術の現状と課題について触れた。

また、島根県コンクリート診断士会の金村誠氏が「失敗事例」と題して貴重な業務体験を披露し

た。

閉会あいさつで鳥取県コンクリート診断士会の鶴石健治会長は「変化する環境や技術に対応するには適正なインフラの維持管理はできない。島根県の診断士会の皆さんと情報共有し、『太く長い』関係を継続していきたい」と話した。